

令和7年度
第4回浜松市立和田東小学校運営協議会



林間学校



修学旅行



わくわく発表会



持久力アップチャレンジ

浜松市立和田東小学校

令和7年度 第4回和田東小学校運営協議会次第

日時：令和8年2月18日（水）14:00～15:30

会場：和田東小学校 2階 会議室

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長の選出

4 前回会議録確認

5 熟議

(1) 令和7年度学校評価について（学校関係者評価） 教務主任より

(2) 学校いじめ防止基本方針について 教務主任より

(3) 来年度の学校運営の基本方針 校長より

(4) 学校運営協議会の自己評価

6 連絡

夢育やらまいかCS加算分の報告

7 閉会の挨拶

※令和8年度第1回学校運営協議会開催予定 4月22日（水）



わだひがし

和田東小学校だより

No.10

令和8年1月20日発行

令和7年度の2学期の「学校評価アンケート」の集計が終わりました。貴重なご意見や評価をいただきありがとうございました。まずは、結果をご覧ください。

【2学期 学校評価アンケート 結果】

にこにこ思いやる (徳) ※よくできている、大体できている の割合

① だれにでも明るいあいさつをしている 目標値 90%

1・2年	3～6年	保護者	教職員
86.6%	87.0%	81.7%	82.4%

② 周りの人にあたたかな態度で接し、助け合おうとしている。目標値 90%

1・2年	3～6年	保護者	教職員
93.7%	86.9%	92.2%	100%

③ 自分のよさが分かり、集団をよりよくしようとしている。目標値 85%

1・2年	3～6年	保護者	教職員
86.4%	76.2%	81.9%	88.2%

ぴんぴんきたえる (体)

① 自分の目標に向かって粘り強く運動している 目標値 85%

1・2年	3～6年	保護者	教職員
90.5%	80.7%	72.6%	76.5%

② 病気の予防に努め、健康に気を付けながら生活している。目標値 85%

1・2年	3～6年	保護者	教職員
91.7%	82.7%	93.2%	88.2%

③ 危険を予知し、安全な生活に心掛けている。目標値 85%

1・2年	3～6年	保護者	教職員
88.7%	87.9%	84.0%	29.4%

こつこつ学ぶ (知)

① 基本的な学習習慣を身に付けている。 目標値 80%

1・2年	3～6年	保護者	教職員
87.2%	85.5%	79.7%	62.5%

② 既習を生かして粘り強く課題解決に取り組んでいる。目標値 80%

1・2年	3～6年	保護者	教職員
82.5%	81.3%	70.0%	68.8%

③ 学び方を学んだり、交流を通して考えを深めたりしている。目標値 80%

1・2年	3～6年	保護者	教職員
91.9%	91.9%	72.0%	75.0%

この結果をもとに、学校職員でKeep…続けたいこと、Problem…課題、Try…挑戦したいことについて話し合いました。

<豊かな心（にこにこ思いやる）> ○Keep ▲Problem ★Try □その他

○委員会による「あいさつ運動」の放送は、効果的だった。

○（心の日などで）自分のよいところをもっと知ってほしい。→★学校全体でやってみよう！

○助け合うこと、優しく接することができる子が多い。

▲朝だけでなく日中の「こんにちは」や会釈ができるようにしたい。

▲言葉遣いが直らない。

★あいさつ運動のやり方をさらに工夫したい。（全校でやる、高学年から広げるなど）

□あいさつのグランドデザイン目標値…85%でもよいかもしれない。

<健やかな体（ぴんぴんきたえる）>

○体育では、自分の単元目標をワークシートに記入してから主運動を行うようにした。

○清潔チェックのミニ賞状は効果あったと思う。保健委員会に続けてほしい。

○運動場で遊ぶ場所を図に示し、区切ったのがよかった。（安全面や規範意識の向上）

○担任が下校時に昇降口まで付き添うことで、廊下歩行が多少よくなった。

▲安全に対する自己評価が高い…★廊下歩行の様子を動画に撮り、子どもたちに見せるなどすることで客観的に自分たちの行動をとらえられるようにしたい。

▲体育では、自分の単元目標を立てても、それに向かって思考している児童が少ない。

★竹馬やフラフープなど、休み時間に使えるようにし、遊びの選択肢を増やしたい。

（遊びの分散によるけが防止にもつながる）

<確かな学力（こつこつ学ぶ）>

○基礎基本の定着（漢字、計算、ひらがなカタカナ）に計画的に取り組めた。

▲粘り強く課題解決…課題設定が難しい。

▲漢字の定着が課題である。★漢字学習の取り組み方を工夫したい。

★自分で家庭学習を工夫したり、計画を立てたりする力をつけたい。

★M I M（低学年を中心とした読みの指導モデル）…夏休み前に親子学習会をしてみたい。

★こつこつ遊び（学校で宿題をみてもらおう！異学年で教え合い）

★こつこつタイムの活用（音読の日…音読の動画を撮って、音読の状況を確認したい。）

★週末読書のすゝめ（より読書が広がるような取組を工夫したい。）

★子ども参観会【子供同士で授業を見合う活動】（異学年・同学年）をやってみたい。

〔内容例：リコーダー、書写、外国語など〕

現在、これらの学校評価をもとに学校運営協議会の委員の方々にもご意見をいただきながら、来年度の教育課程編成を進めています。なお、令和8年度の年間行事計画については、改善案をもとに、新たに立案していきます。2月末頃には計画できる見込みです。およその計画が決まりましたら学校だよりに掲載させていただきます。よろしくお願ひします。

Ⅱ 令和8年度 和田東小学校 教育構想

1 国・市の現状と動向

多様化が進む現代、VUCA(変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)の時代とも呼ばれる先行きが不透明で将来の予測が困難な社会において、子供たちを取り巻く環境にも多くの新たな課題が生じてきている。

このような状況の中、国からは第4期教育振興基本計画、市からは第4次浜松市教育総合計画が策定された。子供たち一人一人が、持続可能な社会の担い手として、自分のよさや可能性を認識するとともに、他者を尊重し、多様な人々と協働しながら社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていく資質・能力を育む教育の実現が求められている。その力を育む環境を整え、子供たちが自己の所属感と存在感を高め、安全で安心できる和田東小学校を目指していくことが、私たちの責務である。

(1) 国：第4期教育振興基本計画（基本方針）〈計画期間 2023-27〉

コンセプト

「持続可能な社会の作り手の育成」「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」

基本方針

- ・グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- ・誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
- ・地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- ・教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- ・計画の実効性確保のための基盤整備・対話

ポイント ※主なもの

- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実、キャリア教育・職業教育の充実
- ・外国語教育の充実、持続可能な開発のための教育(ESD)の推進
- ・ICT利活用、校務DX、働き方改革、コミュニティ・スクールの推進 等

(2) 市：第4次浜松市教育総合計画 〈令和7年度～16年度〉

教育理念

「描く夢や未来の実現」 【主体性 ・ 多様性・包括性 ・ 信頼・協働】

目指す子供の姿

- ・自分らしさ：自分らしさを大切にする子供
- ・他者との協働：他者と協働し、主体的に行動できる子供
- ・自己調整：自己調整しながら、粘り強く取り組む子供

目指す教職員の姿

- ・愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員
- ・専門性と指導力を磨き続ける教職員

方針と政策

- ① 自分や浜松の未来を創る人づくり
 - ・未来の創り手に求められる力の育成
 - ・多様なニーズに対応した学び舎支援の充実
- ② 安心・安全で魅力ある授業づくり
 - ・「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上
 - ・安全・安心に学べるより良い教育環境の整備
- ③ 子供の学びや育ちを支える連携・協働
 - ・多様な人材・主体との連携・協働子供の学びや育ちを支える連携・協働
- ④ 教育データの利活用
 - ・客観的根拠に基づいた教育施策の推進

2 学校評価の結果

徳 にこにこ思いやる

だれにでも明るいあいさつをしている 目標値 90%	よく・大体できている割合	
	1・2年生	86.6
	3～6年生	87.0
	保護者	81.7
	教職員	82.4

周りの人にあたかな態度で接し、助け合おうとしている。 目標値 90%	よく・大体できている割合	
	1・2年生	93.7
	3～6年生	86.9
	保護者	92.2
	教職員	100.0

自分のよさが分かり、集団をよりよくしようとしている。 目標値 85%	よく・大体できている割合	
	1・2年生	86.4
	3～6年生	76.2
	保護者	81.9
	教職員	88.2

体 ぴんぴんきたえる

自分の目標に向かって粘り強く運動している。 目標値 85%	よく・大体できている割合	
	1・2年生	90.5
	3～6年生	80.7
	保護者	72.6
	教職員	76.5

病気の予防に努め、健康に気を付けながら生活している。 目標値 85%	よく・大体できている割合	
	1・2年生	91.7
	3～6年生	82.7
	保護者	83.2
	教職員	88.2

危険を予知し、安全な生活に心掛けている。 目標値 85%	よく・大体できている割合	
	1・2年生	88.7
	3～6年生	87.9
	保護者	84.0
	教職員	29.4

知 こつこつ学ぶ

基本的な学習習慣を身に付けている。 目標値 80%	よく・大体できている割合	
	1・2年生	87.2
	3～6年生	85.5
	保護者	79.7
	教職員	62.5

既習を生かして粘り強く課題解決に取り組んでいる。 目標値 80%	よく・大体できている割合	
	1・2年生	82.5
	3～6年生	81.3
	保護者	70.0
	教職員	68.8

学び方を学んだり、交流を通して考えを深めたりしている。 目標値 80%	よく・大体できている割合	
	1・2年生	91.9
	3～6年生	91.9
	保護者	72.0
	教職員	75.0

3 学校評価結果を受けた学校運営協議会での話し合いより

※学校運営協議会委員・PTA・協働センター代表・全教員 参加

○学習面

- ・新聞を購読していない、字を書く機会が少ない等、常識が変わってきている。どのように学習していくのかを学ぶことが必要。
- ・家族の中で大人の会話を聞いていると社会で何が起きているのかを学ぶ。また、学ぶ意味を大人が話すのもよい。
- ・国語については、家庭での会話や体験、読み聞かせや音読の影響も大きい。地域の環境としては、金原明善や高柳健次郎といった偉人がいるので歴史も考えやすい。
- ・読書が大切ということが分かっているけども苦手意識がある子もいるので、漫画や薄い本などから活字に触れる機会を増やすとよい。
- ・文章を読み取るのが難しい。読まずに解答するケースがある。読書量を多くすることが大切。
- ・宿題の量については、子供に合った学習ができるとよい。
- ・教師が付けてほしい力まで到達していないが、子供の評価は低くない。ゴールの姿を明確に示すことが大切ではないか。

○生活面

- ・安全意識、危機感がない。自転車の乗り方は気を付けたい。学校で安全教室をしているがポイントをしばって指導していくとよい。
- ・学校の廊下をよく走っていて、低学年ほど多く、特に雨の日に多い。自転車の乗り方は家族と一緒に走るのはいかがか。
- ・危ない経験が少ないために余計に危機意識が少ないのではないか。守りすぎず経験をさせたり、メディアを活用したりして危機意識を高めたい。
- ・挨拶ができないことがあるので、挨拶をする意味・タイミングを子供たちに話す必要があるのではないか。
- ・和田東の子は学年をこえても仲もよく、高学年は低学年に優しいので、生かしていけるとよい。

4 本校が目指す教育

天竜中学校区 目指す児童生徒像

- ・自分らしさを大切に、互いを尊重しあうこども
- ・他者と協働しながら人々の幸せや地域のために貢献することも
- ・描く夢や未来の実現に向けて自己調整しながら、粘り強く取り組むこども

校訓 「ともに 伸びる」 (教育理念)

学校教育目標 「夢をもち ともに伸びる子」 (目指す子供像)

「夢」… 今後実現したい自分らしい願いや希望、目標、志
 「ともに」… 互いに思いやり、進んでかかわること (友達・家族・教職員・地域の方々)
 「伸びる」… 粘り強く、こつこつと一生懸命に努力する (障がい・国籍を超えて)

重点目標

合い言葉：にこにこ・ぴんぴん・こつこつ

	にこにこ思いやる (徳)	ぴんぴんきたえる (体)	こつこつ学ぶ (知)
	 互いに認め合い 高め合う心の育成	 健康な体づくりと 安全意識の向上	 学びに向かう意欲の向上
重点目標	①自分のよさを磨こうとする。 85% ②集団をよりよくしようとする。 85%	①自分の目標に向かって粘り強く運動する。 85% ②危険を予測し、安全な生活を心掛ける。 85%	①目標に向かって、自分に適した方法で学習を進める。80%
評価項目 (目標値%)	1・2年 ①前より好きなことや好きなものが増えている。 85% ②友達を大切に、楽しく生活している。 85%	1・2年 ①どんな運動でも、あきらめずに取り組んでいる。 85% ②事故やけがをしないように、安全に過ごしている。 85%	1・2年 ①めあてに向かって学習している。 80%
	3・4年 ①自分のよいところや成長したところを言える。 85% ②みんなのことを考え、学級のために行動している。 85%	3・4年 ①自分の目標に向かって、あきらめずに運動している。85% ②危ない場所や危ない行動に気を付けて、安全に生活している。 85%	3・4年 ①目標に向かって、自分に合った学習方法を試している。 80%
	5・6年 ①なりたい自分に向けて、努力している。 85% ②みんなのことを考え、学級・学校のために行動している。 85%	5・6年 ①自分の目標に向かって、粘り強く運動している。 85% ②危険な場面を意識して、安全に気を付けて生活している。 85%	5・6年 ①目標に向かって、自分に適した方法で学習を進めている。 80%
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動を探究活動と位置付け、子どもの主体的な活動を促す。 ・自分で学習方法を選択したり、学習計画を立てたりする機会を設ける。 ・各教育活動において、目標を明確にし、振り返りの充実を図る。 		

学校経営目標 「笑顔あふれる元気な学校」（目指す学校像）

○自分らしさ・主体性 ○他者との協働 ○自己調整

経営の重点

児 童

- (1) 「自分らしさ・主体性」を育む教育活動
 - ・自己肯定感や自己有用感を醸成し、ありのままの自分を受け入れる。
 - ・物事を自分事としてとらえ、「やってみたい」という気持ちを大切にする。
 - ・「学び方を学ぶ」意識をもたせ、既習を生かして課題解決していこうとする。
 - ・自ら考えタブレットを効果的に学習で活用する。
- (2) 「他者との協働」による認め合い
 - ・友達と自分の違いを認識し、互いに尊重しながら学んでいこうとする。
 - ・友達と学び合うことの楽しさや自己の学びを実感できる。
 - ・友達との関わりの中で自分ができること、すべきことを考えて行動する。
- (3) 「自己調整」による自己実現
 - ・教育活動全般を通して「自他の命の大切さ」を実感し、危機回避能力を身に付ける。
 - ・児童自身が目標を立て、自分の行動を振り返り、評価しながら次の行動を決定する。
 - ・うまくいかない事があっても一旦立ち止まって修正しあきらめずに粘り強く行動する。

教職員

- (1) 「自分らしさ・主体性」
 - ・教職員が自己のキャリア段階に応じた資質・能力の育成を可能にする校内外を通じた研修体制を整える。
- (2) 「他者との協働」
 - ・教職員が自分の専門性を発揮しながら、多様な支援スタッフと連携・分担し質の高い「チーム和田東」を実現する。
 - ・報告・連絡・相談を確実にやり、風通しの良い職場環境をつくる。
 - ・学年主任を核に和を保つ経営をする。困ったときは声を出し、横と縦の協力体制で対応する。
- (3) 「自己調整」
 - ・教職員が業務にやりがいを持ち、自ら自己調整しながら力を発揮し、自分にしかできない事に注力する。
 - ・一人一人が教育公務員としての自覚を持ち、自制心を持って、不祥事根絶に努める。
信用失墜行為の禁止(体罰、わいせつ、交通事犯、不適切な事務・会計処理・情報管理)
政治行為の制限 営利行為の制限 争議行為の禁止
法令や上司の命令に従う義務 守秘義務 職務に専念する義務

学 校

- (1) いじめの未然防止・早期発見・早期対応
 - ・発達支援教育の観点から、人権教育、共生・共育の充実に図り、確かな子供理解、教育的二一ズの把握、適切な支援をしていく。通常級と発達支援学級との交流を通して相互理解を図り、よりよい人間関係や社会性を育む。
 - ・生徒指導の観点から、いじめを起こさせない学級風土づくりをし、いじめが起きた場合はいじめ対策委員会で方針を決め、教職員間で連携し組織で対応する。
 - ・いじめアンケートやシャボテンの調査を生かし、早期発見・対応に努める。
 - ・家庭訪問、個別面談、SC・SSWの活用等、教育相談の充実に図る。

(2) コミュニティ・スクールの有効活用 「市民協働による人づくり」

- ・ 学校運営協議会において、学校評価の結果をもとに協議会委員・PTA・教職員により本校の課題や伸ばしていきたい点を熟議し、学校経営方針に反映していく。
- ・ 家庭、地域、中学校区の学校・幼稚園、放課後児童会との連携を図り、学校運営協議会、健全育成会、こども110番の家、各種医療機関、夢をはぐくむ学校づくり推進事業等の協力を得る。
- ・ PTA、自治会等、地域の団体へ各種たより、メール、ホームページ等で適切な情報提供を行う。また、参観会、体育的行事等で学校公開を行う。
- ・ 学校支援活動の充実を図る。(挨拶、交通安全、防犯、環境整備、学習、読み聞かせ、課外活動等)

(3) 働き方改革につなげる業務の見直し

- ・ 定時退勤日設定や、ワークライフバランスを意識した休暇取得を進める。
- ・ 各自の仕事を効率的に行う知恵や技術を職場内で共有することを意識して取り組む。
- ・ ICTの効果的な活用を促進する。

(様式2)

令和 8年 2月 18日

浜松市教育委員会 教育総務課
学校・地域連携担当課長

浜松市立和田東小学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 杉山 洋介

夢育やらまいか事業（CS加算分）報告書

夢育やらまいか事業のCS加算分の用途等について、下記のとおり報告します。

記

1 学校運営協議会からの意見

別紙「夢育やらまいか事業に対する意見書」のとおり

2 意見に基づき実施した活動等

No.	記号	事業内容	具体的活動内容
1	ケ	地域連携事業	学校支援活動ボランティアの謝礼としてお茶を購入
2	ケ	地域連携事業	学校支援活動ボランティアの謝礼としてお菓子を購入
3	ク	栽培活動の充実	生活科の野菜や学校花壇の花の栽培活動のため培養土、肥料、石灰等を購入

3 活動に要した経費

夢育やらまいか事業収支決算書のとおり

第4回 学校運営協議会

第2回 学校評価結果から

教育課程の評価・改善

和田東小学校が目指すもの

学校教育目標

校訓 **ともに伸びる**

学校教育目標 (目指す子供像) **夢をもち ともに伸びる子**

合い言葉 **にこにこ びんびん こっこっ**

学校経営目標 (目指す学校像) **笑顔あふれる元気な学校 (やりがいい・成長の実感・大好きな学校)**

にこにこ思いやる(徳)	びんびんきたえる(体)	こっこっ学ぶ(知)
<ul style="list-style-type: none"> 互いに認め合い 高め合う心の育成 だれにでも明るい挨拶をする 80% 周りの人に温かな態度で接し、助け合う 80% 自分のよさを認め、集団をよくしようとする 85% 	<ul style="list-style-type: none"> 健康な体づくりと安全意識の向上 自分の目標に向かって粘り強く運動する 85% 病気の予防に努め、健康に気を付けながら生活する 85% 危険を予知し、安全な生活を心掛ける 85% 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の確実な定着と学びに向かう意欲の向上 基本的な学習習慣を身に付ける 80% 既習を生かして粘り強く課題解決に取り組む 80% 学び方を学んだり、交流を通して考えを深めたりする 80%

具現化するための手立て

第2回学校評価集計結果

③危険を予知し、安全な生活を心掛けている。(きけんがないよう、あんぜんにきをつけている。)

	1・2年	3～6年	保護者	教職員
1 よくできている	58	94	52	0
2 大体できている	28	81	189	5
3 あまりできていない	7	18	39	11
4 できていない	4	6	7	1
合計	97	199	287	17

前期の割合	95.7	89.3	81.1	52.9
後期の割合	88.7	87.9	84.0	29.4
前後期比較	△7.0	△1.4	2.9	△23.5

GD目標値 **85%**

第2回学校評価集計結果

③学び方を学んだり、交流を通して考えを深めたりしている。(ともだちはなしをよくきいてかんがえている。)

	1・2年	3～6年	保護者	教職員
1 よくできている	53	97	31	1
2 大体できている	38	85	167	11
3 あまりできていない	5	11	68	3
4 できていない	3	5	9	1
合計	99	198	275	16

前期の割合	89.4	92.4	77.3	71.4
後期の割合	91.9	91.9	72.0	75.0
前後期比較	2.5	△0.5	△5.3	3.6

GD目標値 **80%**

全職員で全9項目の達成状況を振り返り、KPTシートを作成しました。

Keep	生活委員あいさつ運動	Try
継続すべきこと		
Problem	廊下歩行危険回避	改善していくこと 挑戦すること
問題だと思ふこと		

引き続き課題となったのは 

ぴんぴん③ 

安全意識の低さ

こっこつ① 

家庭学習の方法

引き続き課題となったのは 

ぴんぴん③ 

安全意識の低さ

来年度の
研修の中で
改善

熟議

安全意識の向上のための方策等について
ご意見ををお願いします。

本年度のいじめ防止の取組について

2月6日(金)までのいじめ認知件数

38件

冷やかし	24件
仲間はずれ	2件
軽い暴力	17件
物を隠す	1件
その他	1件

(ポインツを数えて集計に基とされた)

基本的な対応方針

↓

担任一人に任せず、組織的に対応する

和田東小学校
いじめ・問題行動初期対応フロー



- ★安易に解消とせず、その後の関わりを見守る
- ★次年度への引継ぎも確実にを行う
- ★いじめが起これにくい学級風土づくり

【R7】

浜松市立和田東小学校いじめ防止基本方針

浜松市立和田東小学校

冷やかし事例(アンケートで発覚)

5年児童

下校時、A児に「のろま」「早くしろ」「5時間待ったぞ」と言われた。いじめアンケートにて本児が訴えた。

担任は、本人とA児双方に聞き取り、事実確認。A児は、「早くしろ」と言ったことを認め、謝罪をした。放課後、双方の保護者に連絡し、理解を得られた。

軽い暴力事例(保護者からの連絡で発覚)

4年児童

下校時、廊下を走っていた本児に対し、B児が通せんぼをしたり、ランドセルを強く引っ張ったりした。

担任及び生徒指導が、加害・被害以外に近くで見えていた児童にも聞き取りを行い、事実確認。双方、自分のよくなかった点について謝罪した。関係保護者に連絡をし、理解を得られた。

熟議

本校のいじめ防止の取組について
ご意見やご感想をお願いします。

よりよい学校を めざして

評価・改善のサイクルを地域や保護者、学校が丸となって！